

同推協だより

No.134

2023年 6月発行

神前地区同和教育推進協議会

Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



2023年度 神前同推協は設立50周年を迎えました。

神前地区同和教育推進協議会（略して「神前同推協」）は、1973年に設立されました。初めは部落差別をなくすことが目標で活動を始めました。

一言に50年と言いますが、多くの先人の方々のご苦勞と共に、神前地区の住民の方々のご理解やご支援があってこそ、継続されてきたと思われ

ます。各地の人権活動団体が、「人権同和教育」とか「人権教育」と名前を変えていくにもかかわらず、神前地区だけはいまだに「同和教育」を掲げているにも意味があります。

目指すは「全ての差別をなくす」ことですが、「部落差別をなくせなければ、全ての差別はなくなる。」と考えられないでしょうか。「男女差別」も「障がい者差別」も「人種差別」も性差や障がい、肌の色の違いなど「違い」を差別しています。そこには、自らの劣等感や不満の掛け口などいろいろその人なりの理由があると思われ

ます。全く同じ人間で、まったく変わりがないにもかかわらず、生まれた場所だけで差別されます。赤ちゃんが自分の生まれる場所を選ぶことはできません。

つまり、部落差別は、人間の最も見にくい部分が表れている行動だと言えないでしょうか。その部落差別をなくそうと、神前同推協は50年間挑み続けてきました。そして明日からも挑み続けます。更なるご理解とご支援をお願いします。



【50周年記念として行う特別イベント】



1. 人権フェスタかんざき

6月11日(日) 13:30～ 神前小学校体育館

(開催案内のチラシやポスターは三滝中学校パソコン部の生徒さん方にご協力いただきました。)

① 「劇団でこぼこ」による人権劇

神前同推協50年の歩みを、神前地区在住の方々による劇

でお伝えします。どうして神前同推協ができたのか。その謎が明らかになります。

若い人こそ必見！みなさんも是非ご覧いただき、思い出してほしいと思います。

② 新キャラクターの発表

現在の同推協のマスコットキャラクターの「カンちゃん」に友達を募集しました。

そして、いよいよ新しい友達が発表されます。今まで一人でがんばってくれた「カンちゃん」に感謝しつつ、これからは友だちと二人で力を合わせて「差別をなくす」活動にがんばってほしいと思います。



2. 50周年記念誌発行 9月ごろ

現在同推協編集委員会において、この50年の歩みを記録する作業が行われています。

発行されましたら、一つの区切りとして、新たなスタートとして、ぜひご一読をお願いします。



3. 50周年記念誌発行「人権講演会」 10月1日(日) 13:30～ 神前小学校体育館

人間が生まれることは奇跡です。たった一つの命が生まれるには何万人の方々の命が引き継がれています。

50周年を境に、もう一度命の意味を考えてみませんか。

助産師の林先生に再度神前にお越しいただき、「私がこの世に生まれる奇跡～人が生まれるということの素晴らしさ、尊さ、平等について～」ご講演をいただく予定です。



4. 夏の啓発委員研修会 7月8月に4回実施(具体的な日にちは後日お伝えします。)

今年は第1日目に講師先生を招き、2日目以降につながるお話していただくと思っております。その中で、「いまだに差別が、現実的に存在していること」。それによって「苦しんでいる人たちが実際にいること」を理解してもらいたいと思っています。「差別なんてもうないじゃないですか。」とよく聞きますが、そんなことはないのです。

そのうえで、啓発委員の方々には、町別、団体別懇談会の意味や必要性を再確認していく場にしたいと考えています。



5. 同推協のつどい 令和6年2月4日(日) 時間未定

50周年記念年最後として、今年活動を総括し、次の100周年を目指してスタートするイベントにしたいと考えています。

◎ その他にも「文化祭」などの地区行事に積極的に参加し、機会あるごとにみなさんと一緒に話し、考えたいと思っています。

2023年度 神前同推協「総会」が無事行われました。



5月12日(金)、神前小学校体育館で「令和5年度神前同推協総会」が行われました。100名近くの方々に参加され、今年度の活動方針や計画、組織や予算が承認されました。

今年度は神前同推協設立50周年ということで、様々な特別なイベントの計画やそれに伴う予算など、今年だけの内容も多く、みなさん熱心に真剣に協議していただきました。

3年ばかり、コロナの影響で、多くの方々の参加する総会を行うことができませんでしたが、総会が成功裡に行われたことで、今年様々なイベントもこれから多くの方々の参加を得て行われることを期待しております。

多くの方々と話し合い、自分を見つめることで差別の本質を一人一人が明らかにしていってほしいと考えています。

2023年度 神前地区同和教育推進協議会の新体制

本部役員 会長 近藤 静夫・一般 副会長 武藤 清・一般 副会長 嘉志摩芳夫・連合 書記 中川 里美・一般 会計 林崎恵美子・一般 監査 生川 宗利・民児協 水谷 元子・一般	総務部 部長 清水 浩己・矢合 副部長 桂川 恵次・菅原 書記 川村 まり・一般 小川 元幸・寺1 小川 純・尾平 中澤 敦子・プラザ 大島 光信・センタ	研修啓発部 部長 坂倉 千雅・一般 副部長 川森 湧子・一般 書記 江川 公子・一般 江川 英明・尾平 萩原千佳子・寺2 北岡 誠・高角 福田かよ子・美里 松下 菜月・こども 木下 玖美・こども 光安 淑恵・こども 高見 佳典・こどP 野波 大輝・神前小 池本 圭宏・プラザ 川北 直美・一般 佐藤 美重・一般
企画部 部長 坂倉 乾三・一般 副部長 浅川 勝広・尾平 書記 田中ゆかり・一般 二宮 裕美・一般 伊藤 浩司・高角 高橋 賢・プラザ 小出 恵子・三滝P 益川 将成・三滝中 山中ゆかり・三重P 加藤 英和・三重平	広報部 部長 川北 敏・一般 副部長 岡本 郁和・高角 書記 林崎 美佳・一般 村山 長敏・民児協 角谷 高弘・曾井 村木 哲也・神前P 西村 彩花・神前小 中山 豊子・一般 吉田 弘一・MGR	

1年間お世話になります！
楽しい企画をお願いします。



会長・各部部長から一言

神前地区同和教育推進協議会 会長 近藤静夫

本年は、設立50周年の節目として、未だ解消できていない心理的な部落差別をいかに早く解消するかを考え、展開する年とすべく、役員・専門部員・啓発委員のみなさんと、知恵と力を発揮する年にしたいと思っています。

部落差別について学ぶことが、他の人権問題につながることはみなさんご承知のことと思います。神前地区の他団体のみなさんと連携しながら「差別のない、明るく住みよい・住みたくなるまちづくり」を目指したいと考えています。

神前地区の住民のみなさんの協力を得て、人権問題を含め、地域全体が気軽に話し合える雰囲気を作れるように、行事に工夫を凝らしたいと思っています。

総務部 部長 清水浩己

昨年1年間、総務部員として、人権・差別について勉強させていただきました。今でも地域の懇談会で人権・差別について考える機会はありませんでしたが、1年を通して勉強させていただいたのは初めてでした。自分が成長できたと感じられた1年間でした。

今年も1年間、みなさんとの会話を大切に、みなさんに助けをいただきながら、有意義な時間となるように努めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

研修啓発部 部長 坂倉千雅

今年度、部長を務めさせていただく坂倉です。研修啓発部は、夏に行う「啓発委員研修」

を最大の行事として取り組んでいます。

昨年度までは回数を減らしての実施でしたが、今年はコロナ前のような夏の研修会ができるようにと動き出しています。

今年の研修テーマは、「自分の心を掘り下げる」です。部落差別をはじめとする様々な差別問題について話し合い、今一度、自分自身の心と向き合うきっかけを作ることができればと思っています。

初めての「部長」という大役で、自分に務まるのか不安ですが、部員のみなさんの力を借りながら同推協設立に立ち上がった坂倉萬吉の遺志を継いでいく活動をしていきたいと思っています。

企画部 部長 坂倉乾三

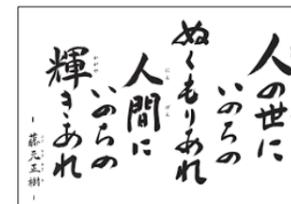
今年も引き続き部長をさせていただきます。今年は今までよりもさらに部員の方々と親しくなり、発言しやすい部会の場を創り、活動が有意義になるように、部員の方々とみんなで進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

広報部 部長 川北 敏

この間、水平社博物館へ見学に行って聞いた話ですが、「人間として生きていることに感謝したら差別は亡くなる。」

「差別は人が作るものだから人がなくすことができる。」

「人が人として誰もが尊ばれる社会を作っていくことは、みんなが幸せに生きていけることになる。」生まれてきてよかったと思えることを伝えていきたいと思っています。



人権カルタコーナー 今月の1枚！

差別心の源流は、子ども心にあった人も多いと思います。何も知らなかったあの日、あの時。突然、家族や近所の方から知らされた噂話。でもそれは事実じゃなかった。でもその噂が、又次の世代へと受け継がれていく。未だに部落差別がなくなる原因の一つです。まず大人が事実をしっかりと認識しましょう。そして、しっかりとした事実を見る目、事実を基にした考えを持ちましょう。



かあさんは
こう思うよと
ひとごと

人権カルタとは？

2001年、同推協の一般公募啓発委員研修会で人権標語を作りました。その標語を「かるたを作ろうチーム」を募ってカルタに仕上げました。この啓発かるたは、

- ① 啓発委員の役割、
- ② 差別が表れる場面を描いたもの、等
人権・同和教育の解決を願って、「みんなで考え行動しよう。」と呼びかけています。

さらに大切なのは、「ひとりごと」です。子どもは、直接言われるよりも、大人の「ひとりごと」をちゃんと聞いています。世に言う「背中で教える」ということかもしれません。本当に大切なことは、子ども自ら知ろうとすること。それには、教えずに「ひとりごと」。ただし、家族の不満は絶対に独り言で言っちゃだめですよ。子どもは絶対に聞いていますからね。同和教育の第1歩は家庭からです。そして、地域と学校。大人がいっしょに語り合って、本当の事、事実を学びましょう。

同推協啓発委員 募集中

啓発委員になっていただける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して投函してください。(申込用紙は置いてあります。)お電話でも、FAX、メールでも構いません。啓発委員になっていただければ委員研修やイベントに参加したり、同推協の活動内容のお知らせを送らせてもらったりします。

【問合せ先】神前地区市民センター内 団体事務局 Tel・fax 327-1501 (受付午後)

Email : kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp